

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	腎癌に対する手術加療が周術期安全性と残腎機能を含めた長期予後に与える影響		
② 研究期間	学長許可日から 2025年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で手術加療を要した腎癌患者さん		
④ 対象期間	2006年1月1日～2021年6月30日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科		
⑥ 研究責任者	氏名	堀 俊太	所属 奈良県立医科大学 泌尿器科
⑦ 使用する試料・情報等	本研究は既存資料（診療情報）のみを用いる後ろ向きの観察研究です。患者さんの診療録から、年齢・身体所見・術前合併症・経過・一般血液検査結果（末梢血算・血液生化学的検査・凝固検査）・画像検査結果（CT・MRI・腎シンチグラフィ）を収集します。また、手術時の摘出組織及び、当科で行っているその他の研究に参加いただいている患者さんの保管された血液検体を使用します（「泌尿生殖器系悪性腫瘍患者を対象とした治療効果予測因子の検索[ID1256、承認日2016年6月13日]」）。		
⑧ 研究の概要	腎癌患者さんの治療は大きく手術加療と薬物加療に分かれますが、病気の状態によってこれらは選択・併用されます。手術加療については近年ロボット支援手術が広く普及しており、従来では難しかった症例の手術も可能となってきています。しかし一方で従来の手術方法にも良い点もあり、これらの使い分けは重要となってきます。今回、手術加療を受けられた腎癌患者さんをこれまでのデータを利用していただき最適な手術方法の選択や薬物加療を含めた最適な手術加療の時期を調査することを目的とします。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021年9月21日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡く		

	ださい。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 担当者：堀 俊太		
	電話	0744-29-8893	FAX 0744-22-9282
	Mail	urology@naramed-u.ac.jp	